

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年11月14日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 俊範

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	17,521,830	17,408,665	36,514,017
経常利益 (千円)	519,662	674,718	1,647,800
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	23,816	449,159	678,017
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	137,831	224,351	866,341
純資産額 (千円)	12,724,524	13,759,152	13,453,033
総資産額 (千円)	30,948,666	30,521,046	33,238,335
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	3.63	68.54	103.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	41.1	45.1	40.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,040,344	710,616	1,231,261
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	651,868	1,156,862	1,534,723
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	963,245	573,079	1,563,386
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	8,225,966	7,186,585	8,115,941

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.89	39.82

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、富士マック股份有限公司、他1社の重要性が増したことに伴い、これらを連結子会社にしております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用環境は底堅く推移した反面、個人消費は依然低迷し、また外需面では輸出入とも伸び悩み、さらに設備投資は維持・更新投資が主体で、能力増強投資に若干の陰りが見えるなど、必ずしも順風とは言えない状況でした。世界経済は、回復は続いているものの、そのペースは引続き緩慢で、米国は大統領選の行方、投資の減退、欧州はBrexitの影響、政治問題、中国は不良債権増大、新興国は債務問題などの不確実な要素を抱え、全体として先行きに不透明感がより増した状況でした。

このような内外情勢の下、当社グループは、昨年来進めてまいりました国内工場の統合及び物流拠点の整備、組織改革をはじめとした、グローバルな生産、物流一貫体制の構築に拍車をかけました。併せて、内外問わず、ますます多様化し高度化するお客さまのニーズにお応えするべく、グループ挙げて様々な業界の、各地域の、夫々のお客さまにとって最適な厨房を積極的にご提案しつつ、きめ細かいアフターサービスを展開いたしました。

こうしたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は174億8百万円（前年同期比0.6%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は6億7千4百万円（前年同期比29.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千9百万円（前年同期比1,785.9%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、有形固定資産の増加、現預金・売上債権・棚卸資産の減少等の結果、前連結会計年度末比27億1千7百万円減の305億2千1百万円となりました。負債につきましては、支払手形・買掛金・長期借入金の減少等により、前連結会計年度末比30億2千3百万円減の167億6千1百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比3億6百万円増の137億5千9百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9億2千9百万円減少し、71億8千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は7億1千万円（前年同期は10億4千万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権・たな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億5千6百万円（前年同期は6億5千1百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億7千3百万円（前年同期は9億6千3百万円の獲得）となりました。

これは、長期借入金の返済および配当金の支払によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、8千2百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備、あるいは変動を予定している設備は、次のとおりであります。

株式会社トライアンス（連結子会社）が前連結会計年度に取得した福岡県古賀市内の土地（約4,900坪）に総工費約10億円で建設中でありました倉庫および工場（延床面積約3,300坪）が6月末に完成引渡しを受け、7月より新たな物流および生産の拠点として稼働しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪 1 丁目27-37-1805	2,238	31.37
株式会社フジマック	東京都港区新橋 5 丁目14-5	582	8.16
熊谷俊範	東京都品川区	509	7.14
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋 5 丁目14-5	466	6.53
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1 丁目1-2	215	3.01
熊谷俊茂	東京都目黒区	212	2.98
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1 丁目5-5	190	2.66
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内 2 丁目7-1)	175	2.45
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北 4 丁目6-56	128	1.80
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カス トディ業務部)	33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD-HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	117	1.65
計	-	4,835	67.76

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,400	65,514	
単元未満株式	普通株式 2,100		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,514	

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,500		582,500	8.16
計		582,500		582,500	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (経営企画室長 兼 営業本部 市場開発部長)	取締役 (営業本部 市場開発部長)	熊谷 光治	平成28年9月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,336,058	7,562,973
受取手形及び売掛金	8,039,763	6,193,205
商品及び製品	2,694,189	2,259,637
仕掛品	152,538	95,368
原材料及び貯蔵品	1,713,299	1,665,988
その他	889,579	772,220
貸倒引当金	12,610	9,858
流動資産合計	21,812,818	18,539,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,150,671	5,219,154
減価償却累計額	1,973,229	2,062,479
建物及び構築物(純額)	2,177,441	3,156,674
機械装置及び運搬具	3,882,870	4,091,509
減価償却累計額	2,804,972	2,864,967
機械装置及び運搬具(純額)	1,077,897	1,226,541
土地	3,869,197	3,993,344
その他	2,057,715	1,665,491
減価償却累計額	1,370,337	1,407,738
その他(純額)	687,378	257,753
有形固定資産合計	7,811,914	8,634,314
無形固定資産	80,613	74,066
投資その他の資産		
投資有価証券	1,700,887	1,568,999
その他	1,937,824	1,806,799
貸倒引当金	105,723	102,669
投資その他の資産合計	3,532,989	3,273,129
固定資産合計	11,425,517	11,981,510
資産合計	33,238,335	30,521,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,118,998	8,118,539
1年内返済予定の長期借入金	849,054	810,716
1年内償還予定の社債	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	561,278	302,427
賞与引当金	400,901	464,497
役員賞与引当金	26,547	19,393
製品保証引当金	86,400	88,200
その他	1,646,240	1,366,809
流動負債合計	14,689,419	12,170,583
固定負債		
長期借入金	3,212,982	2,809,310
厚生年金基金解散損失引当金	257,827	-
退職給付に係る負債	131,651	131,967
その他	1,493,422	1,650,031
固定負債合計	5,095,882	4,591,309
負債合計	19,785,302	16,761,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	8,656,512	9,187,440
自己株式	441,374	441,374
株主資本合計	10,834,654	11,365,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	723,689	637,723
土地再評価差額金	1,727,717	1,727,717
為替換算調整勘定	166,972	28,130
その他の包括利益累計額合計	2,618,379	2,393,571
純資産合計	13,453,033	13,759,152
負債純資産合計	33,238,335	30,521,046

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	17,521,830	17,408,665
売上原価	12,133,693	11,802,715
売上総利益	5,388,137	5,605,950
販売費及び一般管理費	4,901,168	4,855,433
営業利益	486,969	750,516
営業外収益		
受取利息	5,494	1,804
受取配当金	11,643	16,043
受取手数料	17,667	18,911
受取賃貸料	19,410	19,246
その他	28,746	14,002
営業外収益合計	82,962	70,008
営業外費用		
支払利息	26,404	27,115
為替差損	15,433	113,278
その他	8,432	5,413
営業外費用合計	50,269	145,807
経常利益	519,662	674,718
特別利益		
固定資産売却益	9,040	750
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	89,939
その他	300	0
特別利益合計	9,341	90,691
特別損失		
固定資産除却損	60,091	434
投資有価証券評価損	77,200	-
会員権評価損	6,050	-
その他	96	50
特別損失合計	143,438	484
税金等調整前四半期純利益	385,564	764,925
法人税、住民税及び事業税	332,930	250,188
法人税等調整額	28,817	65,576
法人税等合計	361,748	315,765
四半期純利益	23,816	449,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,816	449,159

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	23,816	449,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143,740	85,966
為替換算調整勘定	29,725	138,842
その他の包括利益合計	114,015	224,808
四半期包括利益	137,831	224,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,831	224,351
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,564	764,925
減価償却費	306,369	309,070
受取利息及び受取配当金	17,138	17,848
支払利息	26,404	27,115
固定資産除売却損益(は益)	50,847	265
投資有価証券評価損益(は益)	77,200	-
売上債権の増減額(は増加)	1,348,620	1,676,844
たな卸資産の増減額(は増加)	556,510	515,351
仕入債務の増減額(は減少)	104,208	1,914,962
その他	246,484	121,925
小計	1,270,666	1,238,305
利息及び配当金の受取額	14,435	14,762
利息の支払額	26,933	25,175
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	217,823	517,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040,344	710,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	106,000	354,182
定期預金の払戻による収入	160,020	243,559
有形固定資産の取得による支出	495,704	1,027,759
無形固定資産の取得による支出	-	6,774
投資有価証券の取得による支出	7,353	3,967
貸付金の回収による収入	403	415
その他	203,233	8,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	651,868	1,156,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	49,842	-
長期借入れによる収入	1,456,000	-
長期借入金の返済による支出	411,492	442,009
自己株式の取得による支出	34	-
配当金の支払額	131,070	131,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	963,245	573,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,204	35,489
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,362,926	1,054,814
現金及び現金同等物の期首残高	6,863,040	8,115,941
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	125,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,225,966	7,186,585

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、重要性が増した富士マック股份有限公司、他1社を連結の範囲に含めておりません。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,254千円増加しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
輸出割引手形	13,777千円	千円
受取手形裏書譲渡高	737	627

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
給与手当	1,971,541千円	1,971,192千円
貸倒引当金繰入額	16,068 "	"
賞与引当金繰入額	364,929 "	392,723 "
役員賞与引当金繰入額	17,790 "	18,981 "
退職給付費用	127,371 "	120,942 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び預金	8,356,070千円	7,562,973千円
預入期間が3か月を超える定期預金	130,104 "	376,388 "
現金及び現金同等物	8,225,966千円	7,186,585千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	131,070	20	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	131,069	20	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円63銭	68円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	23,816	449,159
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益金額(千円)	23,816	449,159
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,494	6,553,490

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月11日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。